

## 【資料2】さいたまはーと推進協議会連携事業候補について

### ① 自転車のまちの情報発信（たのしむ③－1）

- ・ 現在、さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはーと～では「自転車のまちの魅力向上」に向け、平成29年度までに情報発信サイトを開設することを掲げている。
- ・ しかし、予算を確保できておらず、連携可能な市内部の取組みも見当たらない。

解決策

さいたまはーとFacebookページ（仮）の開設

## 【資料2】さいたまはーと推進協議会連携事業候補について

### Facebookページとは

- Facebookページとは、Facebook内で主に企業・団体が開設するページで、通常のWEBサイトとSNSの両方の特長を兼ね備えている。
- Facebookアカウントがなくても閲覧可能、アカウントがあればいいねやシェア等でコンテンツを拡散することができる。**無料。**



### Facebookページ開設のねらい

## 自転車のまちの情報発信の主軸を担い、自転車利用の満足度の向上に貢献

#### <活用例>

- さいたまはーとの紹介・サイクルフェスタなど自転車施策のPR
- さいたまはーと推進協議会委員が実施している自転車施策（バイクロア・SCP等）のPR
- 自転車ネットワーク路線の紹介
- サイクルサポート認定施設の紹介（コンテンツがサイクリストを中心に拡散するため、店舗側にもメリットあり）
- レクリエーションルートの紹介（走行動画の撮影など） 等々

## 【資料2】さいたまは一と推進協議会連携事業候補について

### ② 自転車安全利用の人材育成（まもる②-3）

#### ■ 市職員を自転車利用模範推進員に

- 警察官や市職員が自転車利用の模範を示すべきとの意見あり（第2回さいたまは一と推進協議会）。
- 現状は、市職員向けに自動車の安全講習は存在するが、自転車の安全講習は存在しない。



さいたまは一と推進協議会委員や埼玉県警、民間事業者と共同で内容を練りこみ、市職員向け自転車安全講習会を開催してはどうか。受講した職員に自転車利用模範推進員任命書（ラミネートカード等の簡易なもの）を交付し、意識づけを行う。

市職員が公用で自転車を運転するときには、必ずヘルメットをかぶるよう呼びかける。あわせて、庁舎管理課と各区区役所に自転車の台数分のヘルメットを配備し、セットで貸し出すようにする。

## 【資料2】 さいたまは一と推進協議会連携事業候補について

### ③ 自転車安全利用に関する啓発・広報（まもる②-4）

#### ■ おもいやり1.5m運動への参加

しまなみ海道を擁する愛媛県でスタートした、自転車とクルマの共存、道路の共有を促す取り組み。

自動車等の運転者に対し、自転車の側方を通過するときは“1.5メートル以上の安全な間隔を保つ”か、道路事情等から安全な間隔を保つことができないときは“徐行する”ことを呼び掛ける運動。



1. 2017サイクルフェスタにてこの運動に参加することを宣言
2. 同会場で自動車用ステッカーを配布
3. 公用車にステッカーを貼付（1年間）
4. チラシ等の作成
5. その他、市民生活安全課等と連携した啓発活動の実施

## 【資料2】さいたまは一と推進協議会連携事業候補について

### ③ 自転車安全利用に関する啓発・広報（まもる②－4）

#### ■ 自転車安全啓発チラシ

現在、さいたま市が実施している自転車の交通安全運動として、

- 自転車安全利用の日（各区実施）
- 9都県市自転車マナーアップ強化月間（5月）

があるが、市独自の自転車安全啓発チラシは存在しない。



9都県市作成チラシ

さいたまは一と推進協議会委員と連携し、市独自の自転車安全利用兼さいたまは一とPRチラシをデザイン。各区で配布するチラシとして活用してもらおう。

## 【資料2】さいたまはーと推進協議会連携事業候補について

### ③ 自転車安全利用に関する啓発・広報（まもる②-4）

#### ■ パパママ自転車教科書（仮）

現在、さいたま市では新生児訪問事業を実施しており、すべての生後4か月前後の新生児がいる家庭（年間約1万世帯）に保健師又は訪問員が訪問し、子育てに関する情報提供を行っている。

この機会に、自転車に関する情報提供が可能。



さいたま市祖父母手帳・父子手帳



さいたまはーと推進協議会委員と連携し、パパママ自転車教科書（仮）を作成。新生児訪問時に情報提供を実施する。